

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成26年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(6/14)

	評価区分(※)	評価結果 (ⅠとⅡとⅢの平均値)	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗に関する評価	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	総合評価	
みえライフイノベーション総合特区 (三重県)	正	3.8	4.3	3.5	3.6	<p>・それぞれの進捗管理のための指標において、達成状況が相対的に高く、順調な推移を示しており、特に研究開発支援プラットフォームの活用等は、イノベーションのシーズ育成に長期的にも貢献しうるものとして高く評価できる。また地域独自の積極的な取組も評価できる。</p> <p>・統合医療情報データベースの構築については、なぜ整備が進まないのかの要因を詳細に検討し、可能な範囲で当初の計画を見直すことも必要だと考えられる。また、データベース構築のみならず、その後の維持管理・更新に係る恒常的な資金計画も示すべきである。</p> <p>・医薬品生産金額については、薬価引き下げや消費税による減少分を加味しても、目標額との乖離が大きくなっていることから、減少分の具体的な要因把握が不可欠である。</p>

※「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)